

町長の改革日記

文化財フェア始まる



●市長とともに文化財展を鑑賞

11月10日(土)から大治町文化財フェアが始まりました。オープニングセレモニーには、来賓として河村たかし名古屋市長を始め、ご協力いただいた名古屋市博物館長や愛知県県史編さん室長が臨席され、大治太鼓保存会による嫁獅子演舞で華やかにスタートしました。

初日の来場者は1200人を超えて、2日目も1000人弱と、連日大盛況でした。また、12日(月)の大村愛知県知事の定例記者会見では「はるちゃん」の法被を着て文化財フェアのPRをしていただき、最終日の18日(日)には大村知事にも来ていただきます。ご協力いたいた所蔵者を始め、愛知県、名古屋市には大変感謝しています。

町内だけでなく、町外からも

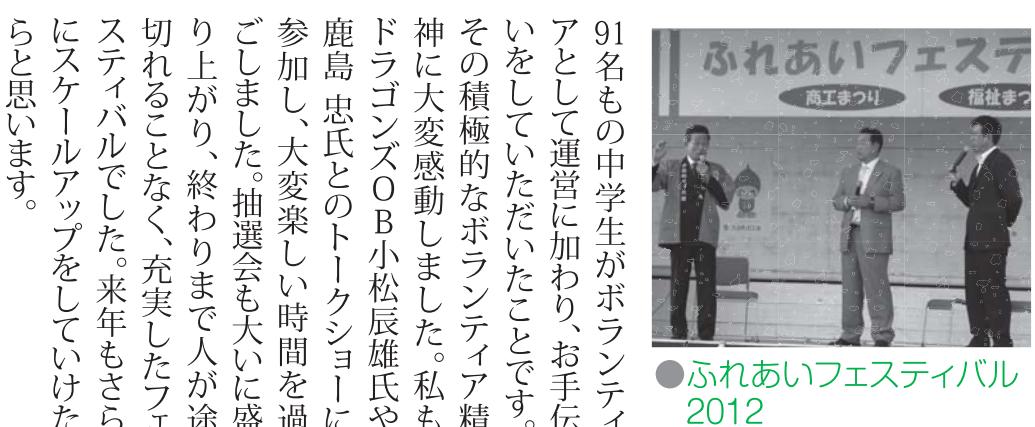


●定例知事記者会見



たくさんお見えになられ、歴史のある大治町に大変興味を持たれています。この町は、平安時代、松葉荘という荘園があり、702年創建の自性院(成願寺)、そして日本で初めて眼科治療をした明眼院(安養寺)など、大変栄えた歴史があり、文化遺産の宝庫です。来場された多くの方が身近に貴重な文化財があることに驚き、再発見できることへの感謝の言葉をかけていただきました。町の歴史を知り、誇りと愛着を持つていただきたいと思います。また、17、18日には松葉城跡と推測される場所の試掘調査に入ることから、大治の新たな歴史が発見されるものと確信しています。今後もこの大治が歴史ロマンあふれるまちとなるよう取り組んでいきたいと思っています。

11月4日(日)、社会福祉協議会と商工会の主催の「ふれあいフェスティバル2012」が開催されました。一番驚いたのは、



●ふれあいフェスティバル
2012

大治町長
岩本好広